

幼児教室ひまわりの加藤です。

今回のご質問は、一人っ子のお子さまの社会性を身につけるためにはどうすれば良いか？という内容です。

お子さまが一人っ子の場合は、社会性の身につけ方に不安になられる親御さんも多いと思います。

ただ、社会性に関しては、兄弟のいる環境であったとしても大切なテーマですので、今回の音声については、すべての親御さんのお役に立てるような内容をお話していきたいと思います。

まず最初に、ご質問された方へお伝えしたいことは、そこまで心配なさらなくても大丈夫ということです。

確かに一人っ子であることや、コロナ禍という状況、周りに頼れる人がいないという環境などが原因で、不安になられているお気持ちは、とても良くわかります。

ただ、このような状況の中でも、ご夫婦できちんと話し合い、方針を決め、体験入学に行ったり、親としてわが子に見本を見せようと、ご近所の方に挨拶や会話をしているなど、親御さんが積極的に行動しています。

頂いたメールの情報のみによる見解ではありますが、すでに素晴らしい行動をされています。

このように、何か不安になることや問題が起きても、すぐに行動ができる親御さんのもとで育った子どもは、立派に成長していくと思います。

不安になる気持ちもわかりますが、これらの行動自体は間違っていないので、ぜひこれからも続けていただけたらと思います。

■環境によって子どもの性格は形成されていく

まず、一人っ子ということについてのお話をさせていただきます。

今回ご質問された方が「一人っ子であるために、社会性が上手く育めないのでは？」ということに、少し心配されていると思います。

こちらについてですが、不安になられるお気持ちはよくわかりますが、先程もお伝えしましたとおり、大きく心配する必要はありません。

大切なのは、「現状を理解する」ということだと思います。

子どもの性格の形成というのは、周囲の環境が大きく影響します。

両親の性格や価値観、教育方針はもちろん、ご近所の大人たちとの人間関係や環境、幼稚園や小学校のお友達の環境など、すべての環境が要因となって、子どもの人格は形成されていきます。

そのため、「一人っ子」という環境も当然、影響してきます。

ただこれは、兄弟がいる子と比べて何か「差（優劣）」があるということではなく、あくまでも「違い」があるということに過ぎません。

一人っ子について言えば、たしかに「人付き合いが苦手」「優柔不断」「独占欲がある」などの、一般的なネガティブに捉えられる性格になることもあります。が、「集中力が高い」「自己肯定感が高い」「優しい性格」というポジティブな性格になるという特徴もあります。

たとえ兄弟がいたとしても、長男には長男の性格、末っ子には末っ子の性格、三兄弟の真ん中の子は真ん中の子の性格のように、やはりポジティブに捉えられる性格もあれば、ネガティブに捉えられる性格もあります。

これらは、どの環境が良いか？悪いか？ということは一切なく、まずは、お子さまのその環境の「現状を理解する」。
そして、その現状をもとに、ポジティブな部分を伸ばしてあげて、ネガティブな部分に苦手意識を持たせないようにする。という行動をしていけば良いのです。

今回ご質問された方は、「一人っ子」という環境の現状を受け入れ、そのような対策をすでに考えられているので、特に心配はいらないと言えます。

ただ、もしかすると、一人っ子という環境をネガティブに捉えている親御さんがいらっしゃるかもしれません。
そのような方は一切、不安にならなくても大丈夫です。

兄弟がいても、長男や末っ子の性質、早生まれの性質など、ポジティブとネガティブの側面が必ずあります。

ですので、何が優（有利）で何が劣（不利）ということは特にありません。

現状の環境を理解して、ポジティブな部分を伸ばしてあげて、ネガティブな部分に苦手意識を持たせないようにすることに集中しましょう。

■社会性を育む方法

それでは次に、社会性を育む方法についてお伝えしていきます。

社会性を身につけるには、やはり社会との関わり（体験）を増やしてあげるようにします。

そのためにも、ご質問された方のコメントにあるとおり、親御さんの行動が最も重要になります。

親御さんがご近所の方に積極的に挨拶をすれば、やはり子どももそれを見て育ちます。

挨拶をすることに抵抗がなくなっていくますし、挨拶することが当たり前という習慣も身につきます。

もし、お子さまが素直に真似して挨拶することができたら、しっかり褒めてあげると良いですね。

「挨拶したら気持ち良いよねー」というように、挨拶をすることで得られる快感を、言葉にして伝えてあげることもおすすめです。

これは、少し言葉は悪いですが、「刷り込み」のような効果があります。

これは別に悪い方向へ洗脳するわけではありませんので、良いことに関しては積極的に言葉にして、お子さまに刷り込んでいくと良いと思います。

すると、「たしかに挨拶をすると気持ちが良い」「挨拶をするとお母さんに褒められた」ということが、お子さまにもインプットされていきます。

もし、お子さまが話しかけることを躊躇したり、なかなか上手く挨拶ができなかったとしても、「ほら！きちんと挨拶しなさい！」という命令のような声がけをするのではなく、「あれ？

なんて言うんだったかな？」という優しい感じで問いかけてあげれば良いと思います。

命令や強制をしないで、問いかけたり導いたりすることで、お子さまは話せるようになります。

また、公園やイベント、体験教室など、人が集まるところに積極的に参加するのが良いですね。

コロナ禍の時代なので、なかなか難しい部分もありますが、可能な限り人と触れ合う機会を親御さんが見つけ、連れて行ってあげるのが良いと思います。

このように、人が集まる場所に、親御さんが積極的に参加するというのは、幼児教室ひまわりの講師たちは皆、子育て当時やっていたと聞いています。

■子どもの得意なことを伸ばし、苦手なことを克服する

「社会性」について、もう少し踏み込んで考えてみます。

社会性というのは、つまりは人間関係であり、人と人との会話がとても重要になってきます。

私たち大人の中でも、人との会話が上手な人もいれば、苦手な人もいます。

このような違いが生まれる原因を考えると、まず一つは共通の話題があるかどうか。というものがあります。

同じ趣味があれば、多少コミュニケーション能力が低かったとしても、会話は盛り上がりますよね。

また、会話が苦手な人というのは、ちょっと自分自身に何かコンプレックスを感じている人の場合もあります。

ネガティブなコンプレックスの部分を抱えていると、上手に話すことができなくなることもあります。

このように、「共通の話題」と「コンプレックス」という要素も、会話をする上での「社会性」に影響を及ぼします。

ということは、子育てでも同じように考えてみると良いと思います。

友達同士でも「共通の話題」を作るためには、いろいろなジャンルの遊びや趣味、習い事などを体験させてみると良いと思います。

すると、その中でお子さまが何かに大きな興味を持ち、夢中になるかもしれません。

その夢中になったことを一生懸命取り組むようになれば、その道で成果を出すことができ、その子の一つの得意分野（武器）になるかもしれません。

そうすると、その趣味で同じように夢中になった子同士で集まり、会話をすることでできるようになります。

そのようなお友達や会話が増えれば増えるほど、社会性がどんどん身につきます。

また、夢中になれば、得意分野（武器）ができ、武器があれば、コンプレックスを感じることなく、人とコミュニケーションが取りやすくなります。

ですので、得意分野を作ること、伸ばすことや、苦手意識を克服することなども、コミュニケーションに影響を与え、社会性を育てることにつながっていくことになります。

これも、先程お伝えした、「現状を理解する」ことから始まります。

「一人っ子」や「末っ子」というような環境に限らず、この子はどんなことに興味があるんだろう？どんなことが強みなんだろう？という視点で観察したり、「あれ？この子、ちょっとこれが苦手かも？」という状況が見受けられたら、ちょっとここを苦手意識が持たないように、今から改善していこう！と考えたり。

このように現状を理解して、対策を練るということをくり返していただけたらと思います。

現時点で、今回ご質問された方は、それができているのでこのまま進めていただけたらと思います。

もしこの先、何かさらに大きな不安が出てきたとしても、対応の仕方は同じです。

現状を理解して、ご夫婦で話し合い、こうやって見ようか？と実践してみましょう。

その過程の中で、それでも自信が持てないような時や不安になってしまった時は、私たちのような専門家に質問して確認をするのも良いと思います。

特別会員コースでは、このような環境をご用意しておりますので、遠慮なくご活用ください。

それでは今回のセミナーは以上です。

特別会員コースでは、毎週日曜日の朝に「悩み相談セミナー」を配信しております。

会員さまから届く子育てのお悩みを、他の親御さんたちにも共有し、そして悩みの解決へと導くことを目的としています。

ですので、もし現在子育てのお悩みや相談したいことなどがありましたら、遠慮なくサポートチームまでご連絡ください。

ご相談フォームはこちらです。

<https://88auto.biz/himawari/registp.php?sno=41>

※今回のセミナーの感想や質問もお受けしております！